

# 事業報告書

令和元年度

社会福祉法人 福鳳会

# 社会福祉法人福鳳会

## 概況及び基本理念

### <はじめに>

基本理念の下、敬老愛護、お客様ファースト実現のために必要な職員資質向上への取り組みを進めた。

西別館（仮称）増築及び既存各館の改修については、利用者の生活環境等を改善し、施設の魅力を高める 職員の働きやすさを向上させる 介護事業に係わる将来の環境変化を折り込む 整備後の収支が相償うものにする 地域との連携を強める、という5つの方針下、全面的な改善に向けて改築改修に着手した。

### 事業所数 10事業所

- ・特別養護老人ホーム 2事業所、併設型短期入所生活介護 1事業所
- ・通所介護事業 2事業所
- ・認知症対応型通所介護事業 1事業所
- ・訪問介護事業 1事業所
- ・居宅介護支援事業 1事業所
- ・地域包括支援センター 1事業所
- ・サービス付高齢者向け住宅 1事業所

職員数 229名 （令和元年度正規職員 採用者数 16名 / 退職者数 15名）

男女比 1 : 3

平均勤続年数 / 平均年齢 9.1年 / 46.5歳 令和2年3月末現在

### 基本理念

- ・ 高齢者の生活と人権を尊重し、公正で開かれた施設運営に努めます。
- ・ 高齢者が地域で安心して生活を送ることができる拠点施設となるように努めます。
- ・ 施設は、利用者の社会生活の場として位置づけ、安全で安心した日常生活を送ることができる環境づくりに努めます。
- ・ 職員は、常に満足のいただけるサービスが提供できるように励み、地域社会活動にも積極的にに関わり、地域から求められる施設となるように努めます。

## 活動状況



### ・主な活動ポイント

法人内研修の充実。年間を通して法人内研修を開催。

21項目の研修を延べ48日間実施し、延べ953人の職員が参加した。

自己啓発研修費貸与制度を利用した職員は 1名。

人材育成。定期的な面談を開始。

職能要件書職能評価シートを使用した面談を、年2回実施を推進した。

職種別のチェックが行えるようラダーの整備やチェックシートの運用を始めた。

安全衛生委員会を定期的に行い、職員の労働環境改善のための提案を行っている。

『整理・整頓の日』を活用することが定着している。また、5Sチェックシートを作成し、事業所ごとにチェックを行う体制を整えた。

### 新規学卒の採用活動

県内の養成校及び大学のみでは介護人材が少ないこともあり、県外の大学訪問、説明会や各種案内サイト等を活用してきた。新たに当法人の採用サイトを立ち上げることを進めてきた。

## 社会貢献活動

南星中学校交流会



高校生バスツアー



4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

法人主催小学生親子介護教室



小学生親子バスツアー



獅子舞共演会



### ・主な活動ポイント

年間行事計画に基づき実施した。

#### 南星中学校交流会の受け入れ

中学校を事前訪問し、車イスの使い方や認知症について等のレクチャーをすることで、理解を深めてもらうことができている。中学校担当教師からも継続していく要望も聞かれている。

#### 小学生親子バスツアー・高校生等福祉の体験

富山県社会福祉協議会からの依頼により、福祉について広く知ってもらうために積極的にバスツアーを受け入れた。(小学生親子15組、高校生8名参加)

# 特別養護老人ホーム鳳鳴苑

## ユニット型特別養護老人ホーム鳳鳴苑

### < 事業概況 >

入居者数 従来型 90名・ユニット型 40名

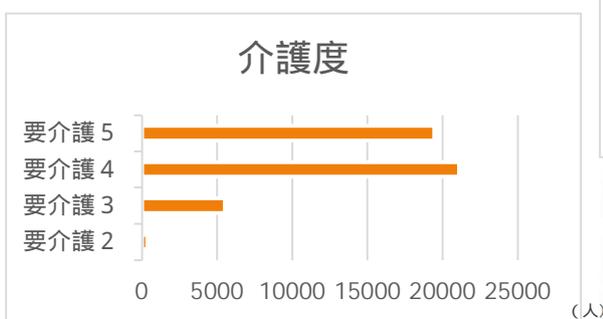
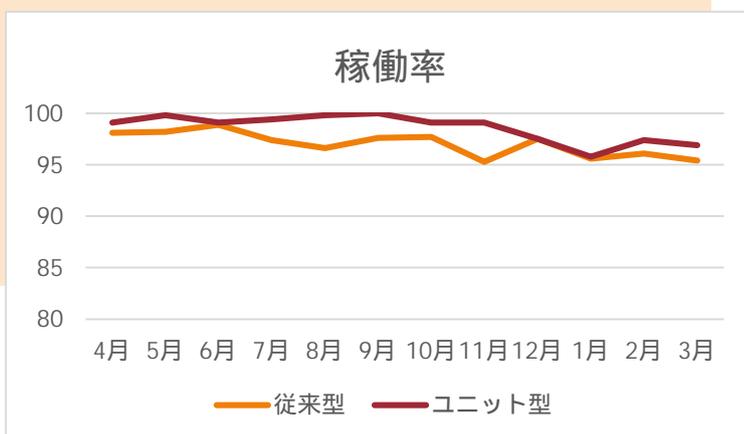
年間稼働率 97.5%

年間看取り者数 28名

年間平均介護度 4.3

年間平均年齢 88.4歳

男性：女性 23名：106名



### < 活動状況 >

#### サービス向上

- ◇ 介護力向上の取り組みを通じて、各ユニットで排泄介護等のケア方法について個々の利用者への対応を検討してきた。またスキントラブル及び褥瘡委員会が中心となり、褥瘡の発生状況をデータ化し、改善への取り組み方法を進めている。身体拘束及び不適切ケアについては、自分たちのケアを見直し、意識付け注意喚起を行い根拠のあるケア、相手を思いやるケアを目指したケアに向けて継続して取り組むように進めてきた。今後もさらに維持・向上できるように多職種で連携し対応していく。
- ◇ 多職種協働で、口腔ケア計画を推進している。歯科衛生士の口腔ケア指導を月3回受け、利用者状況に合わせた口腔ケアを継続して行っている。

#### 業務改善

- ◇ 多職種での情報共有のため、ワイズマンシステムのみではなく、kintoneの活用も継続して行っている。ワイズマンシステムにMell+システムを導入し、情報共有を進めた。
- ◇ 業務改善委員会・安全衛生委員会等を通じて職場環境の見直しが定期的に行われているが実際には、あまり目に見えて変化は表れていない。委員となる職員だけではなく、その他の職員も取り組めるよう働きかけが必要。委員が上手く発信し他の職員に理解を求め協力等を働きかけていけるように進めて行くことが大切である。

# 特別養護老人ホーム鳳鳴苑 併設型短期入所生活介護（ショートステイ）

## < 事業概況 >

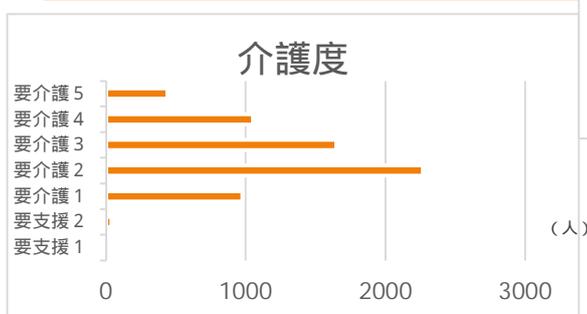
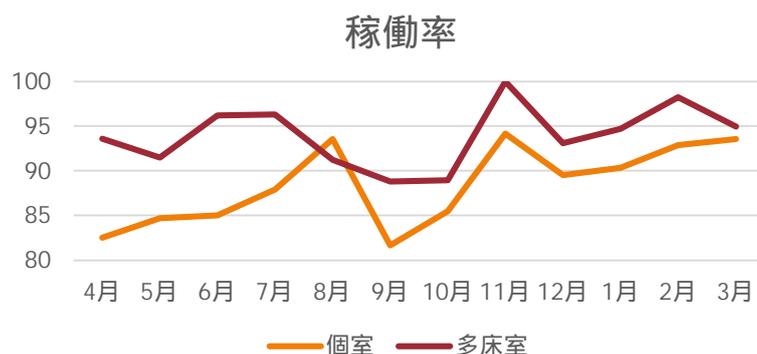
定員数 多床室 14名・個室 4名

年間稼働率 97.6%

年間延利用者数 6,430名

年間平均介護度 2.6

1日平均利用者数 17.6人



## < 活動状況 >

### サービス向上

- ◇ 利用者及びご家族の意向確認については、ケアプランや担当者会議、利用時等において随時確認している。介護記録等、随時行っている。ケアプランの立て方や流れなどについては随時見直しを図ってきている。今後も随時見直しを図っていく。
- ◇ 交通事故なく送迎を行えている。送迎時間の変更等についてはその都度連絡を行った。
- ◇ 感染防止に対して、受け入れ時の検温や体調確認、退去時の情報提供を年間通して行っている。また、利用中に変化が見られた場合は、隔離できる場合はすぐに隔離し、家族等と連携を図りスムーズな受診につなげている。

### 業務改善

- ◇ 新規利用者の獲得を随時行い、できる限り要望に応えながら次につなげている。居宅介護支援事業所との連携を図りやすくするため、定期的に訪問をした。その結果、稼働率 98.5% (R12月末時点) と順調に利用を延ばすことができた。実地指導から毎日の利用者が定員を超えないように指摘を受けている。最近、介護者が急遽入院したなどにより急遽利用される利用者もあり、その対応をしていたこともあるが、定員を遵守するようにしていく。

# 鳳鳴苑デイサービスセンター 通所介護事業所

## < 事業概況 >

定員数 70名

年間稼働率 86.5%

年間延利用者数 18,090名

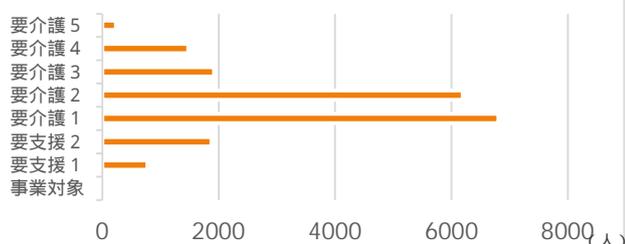
年間平均介護度 1.9

1日平均利用者数 58.7人

### 稼働率



### 介護度



## < 活動状況 >

### サービス向上

- ◇ 来年度も同様に「介護予防・日常生活支援総合事業」と「すこやか運動教室」の2つの事業への取り組みを継続していく。「すこやか運動教室」の参加者が当事業所の事や講師の顔を覚えていることが多いため、新規利用に繋がりがやすい状況である。
- ◇ 職員が信頼関係づくりを意識し、取り組んでいる。日々の申し送りとして利用者の情報の共有に努めており、良い関係性を築くことができるよう努めている。

### 業務改善

- ◇ 平均稼働率 82%を目標に進め、現段階では平均稼働率が 87%となっている。営業の成果が出てきていると考えられる。しかし、利用者の体調不良や骨折による入院、自宅安静の方が多い状況である。今後、稼働率が下がってくると思われる。新規利用者獲得を常に意識して毎月事業所回りを行うように努めていく。
- ◇ 月初めに空き情報及び利用状況の報告を専従の生活相談員が各事業所を訪問し行っている。また、中旬には管理者と専従の生活相談員の2名で空き情報の提供及び利用状況の報告を行い、新規利用者の獲得に繋がるように努めている。

# 鳳鳴苑デイサービスセンターえがお 認知症対応型通所介護事業所

## < 事業概況 >

定員数 12名

年間稼働率 66.9%

年間延利用者数 2,497名

年間平均介護度 3.1

1日平均利用者数 8.0人



## < 活動状況 >

### サービス向上

- ◇ 認知症を理解しようとする優しい気持ちと、症状から導き出される行動からその意味を考え、丁寧な言葉使いを心がけ柔軟に接することを職員全員が統一しケアの質の向上に努めるとしたが、言葉使いが荒くなったり、利用者様を敬うような言葉が少なかったりと、統一したケアに繋がられなかった。職員全員が認知症の方を理解し統一したケアが行えるよう会議で周知を図ったが十分ではなかった。
- ◇ 年2回の運営推進会議を通して地域の方やご家族様に活動内容を知って貰えた。今年度は「事故・ヒヤリハット」と「生活リハビリの必要性」について報告した。

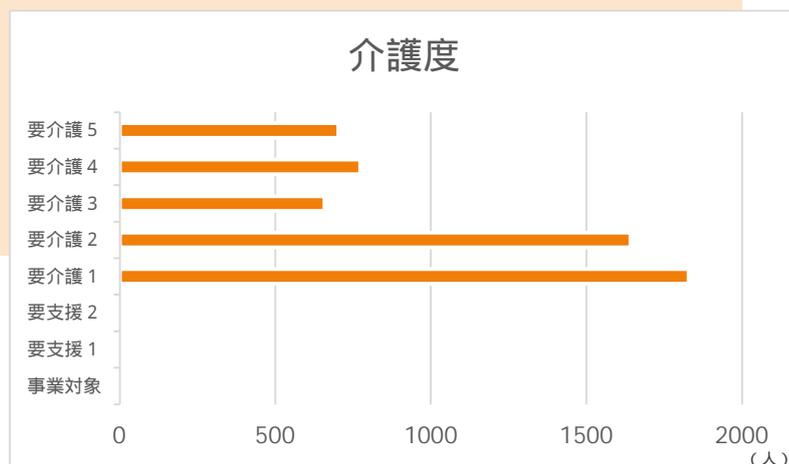
### 業務改善

- ◇ 1日利用者数は平均8.0人、年間平均稼働率は66%台となった。空いた時間を活用できる限り月2回営業に行くように努め、ケアマネジャーとの連携に努めた。
- ◇ 送迎時間やご家族様の要望に対して柔軟に答えるように努めた。素早く対応できるように送迎時間等を職員全員が把握し連携を図るよう努めた。
- ◇ サービス向上委員会で空き情報の改善点等を聞き参考になった為、次年度に活かしていきたい。

# 鳳鳴苑デイサービスセンター 訪問介護事業所

## < 事業概況 >

年間延利用者数	7,004名
身体介護延利用者数	3,167名
生活援助延利用者数	2,216名
折衷型介護延利用者数	222名
その他	1,399名
年間平均介護度	2.4
平均利用回数	19.1人



## < 活動状況 >

### サービス向上

- ◇ 介護の質の向上のため、サービス提供責任者がサービス提供時の状況確認や指導等を毎日携帯メールにて行い、満足度の高いサービスの提供に努めている。
- ◇ 要介護や要支援高齢者の増加や、支えてきたご家族の状況も介護期間の長期化等によって変化していることから、出来る限り様々なニーズに対応している。

### 業務改善

- ◇ 随時各事業所に情報提供を行うとともに、新規利用の獲得に繋げている。
- ◇ 空き情報を提供することはできていないが、受け入れの難しい利用者を積極的に受け入れることにより、少しずつではあるがケアマネジャーと信頼関係を築き新規獲得に繋げている。
- ◇ 総合事業の利用者を受け入れることにより継続的なサービスの利用やサービスの増加に繋げている。
- ◇ 高志の郷管理課やデイサービスと情報を共有し、利用者の状況を把握することでサービス利用の提案をおこなっている。
- ◇ 可能な限り要望に応えられるよう、少しではあるが週末や勤務時間外の訪問にも対応している。

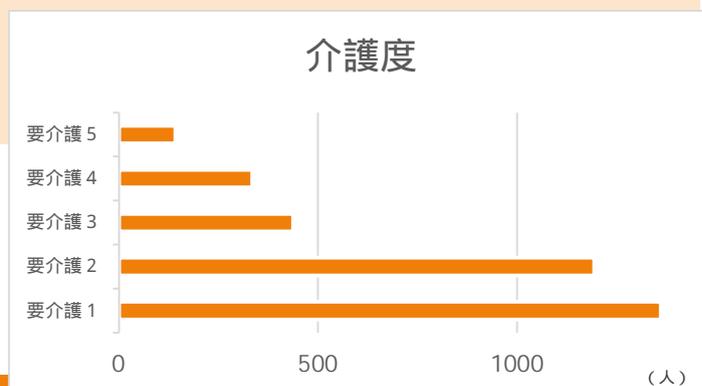
# 在宅介護支援センター 居宅介護支援事業所

## < 事業概況 >

年間ケアプラン作成件数 3,473件

月間一人当たり作成件数 28.9件

年間認定調査件数 278件



## < 活動状況 >

### サービス向上

- ◇ 職員の入職と退職が重なったため、上半期は当法人の地域包括支援センターの担当地域等の利用者獲得に積極的に努めることができなかった。下半期より新規利用者受け入れを再開し、給付件数は月平均290件になった。
- ◇ 利用者の自立支援に資するケアマネジメントを目指し、住み慣れた馴染みのある地域で生活が送れるよう、地域の方々や関係機関との永続的で強固な連携に努めた。これによって、年々関わるサービス事業所数が増えている。
- ◇ 予防プランは、一定の受託件数を保持し、各地域包括支援センターと連携を図った。

### 業務改善

- ◇ 特定事業所加算 の継続を含めた各加算を積極的に取得した。また、介護支援専門員実務研修の実習生を受け入れた。
- ◇ 職員の入職と退職が重なったため、新規利用者の受け入れは慎重な対応となった。受け入れ沈滞の期間は病院や各地域包括支援センターとの連携が滞らないよう配慮した。
- ◇ 高岡市内の医療機関が推奨する多職種連携ネットを導入し、この連携に係わる利用者を紹介いただいた結果、ターミナルケアマネジメント加算の取得に繋がった。

# 木津・福田・佐野・二塚地域包括支援センター

## < 事業概況 >

年間相談件数 2,816件

1日平均件数 10.7件

## < 活動状況 >

### サービス向上

- ◇ 高齢者が住み慣れた地域で尊厳をもって自分らしく安心して暮らせるよう地域包括ケアシステム構築に向けて、通常の業務に加え以下の2項目について重点的に取り組んだ。
- ◇ 今後の地域づくりを推進していく上で、地域との連携強化を図るため多方面からのアプローチを実践した。
- ◇ 認知症高齢者及びその家族が住み慣れた地域で生活できる支援体制を充実した。

### 推進事業

高岡市の委託を受け、以下の事業を行った。

- ◇ 包括的支援事業  
地域包括支援センター運営事業・在宅医療/介護連携推進業務・認知症地域サポート事業  
ネットワーク構築事業
- ◇ 地域ケア会議推進事業  
地域ケア会議開催業務 年8回
- ◇ 生活支援体制整備事業  
支えあう地域づくり会議（年5回）、情報誌の作成
- ◇ 介護予防・日常生活支援総合事業  
介護予防ケアマネジメント事業・特化型プログラム・地域における介護予防活動支援  
普及啓発型プログラム（生きがい湯ったり事業・元気はつらつ倶楽部）

# サービス付高齢者向け住宅高志の郷

## < 事業概況 >

居室数 45室

令和2年3月末時点

入居数48人 45室(空0室)



## < 活動状況 >

### サービス向上

- ◇ 入居者の皆様には日頃より、安心・安全・充実した生活を提供出来るように、協力医療機関や介護サービス関連機関（居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等）と連携し、入居者の皆様の要望に沿った介護サービスの提案や有償サービスの提供に努めた。
- ◇ 体調不良時はなるべく早く受診をすすめ、協力医療機関（林内科医院、ほんごうハヤシ整形外科クリニック）等と協力し、体調の早期回復に努めた。
- ◇ 4月より、高志の郷デイサービスセンターの看護職員による、無償健康相談を開始した。まだまだ入居者の皆様には浸透してはいない状態だが、今後はもっとご利用頂けるように周知を行っていく。
- ◇ 食事提供については、鳳鳴苑調理課と連携し給食委託業者（メフォス株式会社）との話し合いを行い、食事の品質やサービスの向上を図った。

### 業務改善

- ◇ 災害時に入居者の皆様の安全を守るため、災害対策マニュアルの整備や避難訓練を実施し非常時に対応出来るように努めた。
- ◇ 節電や節水を心掛けコスト削減に努めた。館内すべての電灯についてLED灯への交換を実施した。
- ◇ 入居希望者の方や関係機関等（居宅介護支援事業所や地域包括支援センター）への情報提供を行い新規の入居につなげていくことに努めた。
- ◇ 退去された居室については、業者と連携を強化し速やかに次の入居に向け準備を行い、空室期間を短くすることに努めた。

# 高志の郷デイサービスセンター

## < 事業概況 >

定員 30名 営業日数 310日

年間稼働率 81.4%

年間延利用者数 7,571名

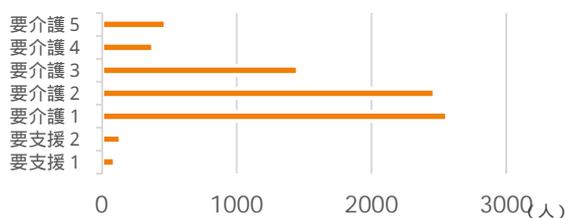
年間平均介護度 2.1

1日平均利用者数 24人

### 稼働率



### 介護度



## < 活動状況 >

### サービス向上

- ◇ 今年度前半は稼働率85%を維持していたが、利用者の入院や入所、ショートステイサービスの利用増加に伴い、9月頃より稼働率が徐々に低下した。しかし、難しいケースでも可能な限り受け入れ実績を積み上げることで、ケアマネジャーからの信頼度は得ていると感じており、定期的に新規利用者の紹介を受け利用開始に繋がっている。11月頃より新規相談件数が増えており、それに伴い新規利用者も増え、稼働率も上がってきている。
- ◇ デイサービスの行事で入居者も参加できるものを企画し参加してもらっている。そういった体験を通してデイサービスへの興味が沸き数名の入居者が利用開始となっている。
- ◇ サ高住入居者の突発的な状態変化等があった際、デイサービスでの受け入れが可能な場合は追加利用のかたちで受け入れている。
- ◇ サ高住入居者の体調不良時にはデイサービスの看護師職員が入居者宅へ出向き、バイタル値測定や傷の処置等への対応を行っている。

### 業務改善

- ◇ ケアマネジャーと積極的にコミュニケーションをとり、情報の交換、共有を図ると共に、可能な限り要望に答えることで、信頼関係を築くように努めている。
- ◇ スライディングボードなどの福祉用具を導入し、可能な限り重度者の受け入れを行っている。
- ◇ 利用者の移動や活動の妨げとならないよう設備点検や備品配置等に配慮し、日常的な整理整頓を心がけ、安全に利用できる環境を作るように努めている。